



天誅組の書籍・文献

貴重な資料が寄贈されました

今は手に入れることが困難な天誅組関係の書籍や文献が、天理市に在住の中村迪也さんから五條市に寄贈されることになり、7月2日、五條市役所で寄贈品の受贈式が行われました。

中村さんが約30年にわたって収集したコレクションの数々は87点におよび、天誅組ゆかりの地、五條で活用してほしいと申し出ていただき、今回の受贈となりました。

寄贈された書籍・文献は、五條文化博物館で保存・整理し、博物館で皆さんに閲覧できるようにする予定です。

子どもたちに育てたい大切な心

青少年健全育成教育講演会

7、8月は「青少年の非行に取り組む強調月間」です。7月5日、五條市校区補導会連絡協議会では、堀内伸起氏(奈良県立五條高等学校校長)を講師に招き、市民会館で講演会を開催しました。

堀内先生は、子どもたちに育てたい心として「自分を大切にする心」「他者を大切にする心」「集団や社会に貢献する心」「命を大切にする心」の4つを挙げ、「地域や家庭のつながりのなかで大人の役割を考えながら子どもたちを見守っていききたい」と講演しました。

また、青少年健全育成に功績のあった皆さんが表彰されました。今年度の受賞者は次の皆さんです。(敬称略)

佐古淳子、杵崎田守代、元谷隆志、櫻井恵子、芝田峰子、竹田廣子、田原説子、永田好秀、辻本英夫、中山裕司、伊谷保則、行本俊浩、阪口育男、森本由美子、松村昌子



日本最南端の市から五條市へ

石垣市商工会が五條市を視察

日本の最南端の市である石垣市の商工会の皆さんが、五條市を視察に訪れました。石垣市商工会では歴史ある自然を後世に残し活用する方法を検討するため、伝統的な街並みを住民と市が協力して保全する「街なみ環境整備事業」を実施した新町を視察しました。

石垣市商工会の皆さんはまちなみ伝承館を訪れ、山本陽一観光協会会長や田中修司商工会会長、市職員と、観光や地域の活性化への取り組みなどについて、活発な意見交換を行いました。

7月は差別をなくす強調月間

第37回 差別をなくす市民集会

差別をなくす市民集会が7月12日に市民会館で開催され、約400人の市民が参加しました。

この集会は、市民一人ひとりが人権意識の高揚と人権尊重の精神を身につけることで、優しさとぬくもりのあるまちづくりが社会に根付くことを目的に開催しています。

講師の元警視監、田宮榮一氏は「家庭からはじまるあいさつ、お礼、激励など1秒のこトバを大切にすることが身近な人権意識のスタートです。」と講演しました。安全で幸せに、安心して暮らせるまちづくりに一人ひとりが取り組もうと決意し、集会を終えました。

